



園だより

4月号

令和3年4月8日
駿河台大学第一幼稚園
園長 田所 恒子

新年度のスタートにあたって

お子様のご進級・ご入園おめでとうございます。

53名の新入園児をお迎えし、185名の子どもたちと29名の教職員で駿河台大学第一幼稚園の令和3年度がスタートいたしました。

今年度は、4・5月が休園となった昨年度と異なり、4月に入園式を迎えられると嬉しい気持ちでいっぱいです。しかし、新型コロナウイルス感染症は再び拡大の兆しを見せています。そのため、年間計画の変更を余儀なくされる状況が出てきました。早速ですが、3月にお知らせした親子遠足を中止します。現在の感染状況では、学年毎とはいえ、大勢が集まり一緒に遊んだり昼食を取ったりすることは危険と考えます。誠に残念ですが中止といたします。保護者会も学級毎に行います。一部の学級の方には、開催時刻や終了時刻でご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解ください。保護者会当日に配布いたします年間計画も、今後の感染状況によっては、子どもたちの安全を考え、変更や中止せざるをえないこともでてくるかと思えます。どうぞ、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

さて、春期休業中に、より子どもたちの健やかな育ちにつながる教育環境となるよう、様々な工事や遊具・園具の見直しを行いました。

工事の一つは、蛍光灯をLEDに取り替えた工事です。昨年度行ったホワイトボード設置に加えて、LEDの設置により、保育室がさらに明るくなりました。照度面だけでなく天井に直接設置されたLEDは、蛍光灯に比べ、地震時の落下が少ないようです。安全面にも優れていて大変嬉しくなります。二つ目は、子どもたちが大好きな、園庭のクジラの滑り台の再塗装を行いました。今年度も子どもたちがいっぱい遊び、身体を動かす楽しさを味わうことでしょうか。楽しみです。そして三つ目は、ベビーカー置き場の設置です。これまで在園児の弟・妹の皆様やプレ保育の方々のベビーカーを園庭側の軒下に置いていましたが、玄関横に置いていただけるようにしました。どうぞ、ご利用ください。

そして、昨年度の園内研究『進んで身体を動かすことを楽しむ幼児を育てる 一多様な動きに視点をあてて一』の研究成果を基に、園具・遊具を購入しました。その一つは、年少児の身体に合った椅子と机の購入です。身体の大きさには、個人差があります。年少児は、椅子に個人マークをつけて身体に合った物を使用できるようにします。これにより、床に足をつけて椅子に座り、より落ちついて話を聞いたり活動を進めたりすることが出来るようになります。また、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを高め、主体的に遊びや生活を楽しめるように、教材や遊具を置くワゴンを購入し、各保育室に配置しました。園内研究のまとめは、4月末に玄関に展示します。是非ご覧ください。

さらに、保育室入り口に、マットを2枚敷くことにしました。欧米に比べて新型コロナウイルス感染者数が少ない一因として、日本人の靴を脱ぐ習慣があるという説があります。外からの土や塵などを落とすマットと、それをもう一度拭くマットを設置することで安全を確保したいと考えます。

まだまだ不安を拭えない日々が続きますが、今年度も子どもたちが確かな学びを身につけ、健やかに育つよう、29名の教職員が一丸となって教育にあたってまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



蛍光灯をLEDに付け替え、保育室が明るくなりました。



ベビーカー置き場設置工事。どうぞ奥の方から順次おいてご利用ください。



年少児用の椅子とこれまでの椅子。身体に合った椅子を使用します。



入り口に2種類のカーペットを敷くことで衛生的な保育室になります。